



実践したプランの内容と成果 (実践したプランのだけ記入する内容です)

複数のプランを実践した場合にはプランの数だけ、ここから後の5つの表をコピーして記入してください

必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません

「★」は任意ですがそれ以外は極力埋めてください

記入日	西暦 2021 年 12 月 26 日 (2021 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	京都府立東稜高等学校キャリアコースライフマネジメント クラス
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	3
タイトル	歴史防災教訓学にチャレンジ
実践担当者のお名前	山本 雄貴、佐々木 陽輔、森野 稔弘 岸畑 祐輝穂、糟野 譲司

実践にかかった金額	10 万円未満
実践の準備にかかった時間	約 10 時間
実践活動を実施した日時	西暦 2021 年 4 月 1 日～年度末まで
実践の所要時間	約 35 時間
実践の運営側で動いた人の人数	教職員 5 名、生徒 79 名
防災教育の対象者の属性	高校生、教職員、他校高校生、京都府教育委員会関係者
防災教育の対象者の人数	約 200 名(本校生徒と京都フロンティア校研究発表会参加者)
実践を行った都道府県と市区町村	京都市伏見区、東山区、山科区
実践を行った具体的な場所	京都府立東稜高等学校、東福寺
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	京都橘大学文学部歴史遺産学科、京都府教育委員会文化財保護課、古地図「京都の歴史」など

達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化財、歴史教育への興味・関心を災害史の観点から理解を深める。 ・郷土愛を育み、地域社会に参画できる人材を目指す。 ・学習活動を通してプレゼンテーション能力のスキルアップを目指し、アウトプット活動を行う。 	
どの力を身につけよ	知識・技能	大いに



うとしましたか？	思考力・判断力・表現力	かなり
該当しないものを削除し該当するものを1つ残す	学びに向かう力・人間性	大いに
<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいで構いません</p>	<p>◎2年生</p> <p>4月～6月 京都の世界遺産日帰りツアープレゼン準備(京都の世界遺産への知識を深める日帰りツアーを企画する)</p> <p>6月 プレゼンテーション能力のスキルアップ(京都光華女子大学キャリア形成学科高野拓樹先生より講演)</p> <p>7月 世界遺産日帰りツアープレゼン大会</p> <p>11月 文化財保護学習(文化財とは何か、文化財の保存などについて本校教員より講義)</p> <p>12月 江戸期の火災についての学習</p> <p>2月 文化財改修工事現地視察(京都府教育委員会文化財保護課、京都橘大学文学部歴史遺産学科の協力を賜り、東福寺常楽庵客殿の改修工事の現場視察と、寺社仏閣の防災対策についてのフィールドワーク)</p> <p>◎3年生</p> <p>5月 疫病今昔物語 (平城京を襲った天然痘から当時と今の水際対策を学ぶ)</p> <p>6月 方丈記から学ぶー安元の大火ー(古典を現代語訳し、当時の古地図を用いて火災の焼失範囲を探究する)</p> <p>7月 祇園祭について(祇園祭と災害の歴史の関係性について祭りの目的を学習) 巨椋池の歴史(伏見にまたがる巨椋池の干拓事業)</p> <p>10月 応仁の乱(文化財の焼失の学習と復興について西陣織や地域にある醍醐寺の歴史を取り上げて学習する) 天下人と災害(天正大地震、慶長伏見地震から秀吉と家康の命運を考え、幻の指月城の歴史に触れる)</p> <p>11月 水害都市京都(鴨川の氾濫の歴史と琵琶湖の水について)</p> <p>2月 京都府教育委員会主催京都フロンティア校研究成果発表会で歴史防災探究チームが学習内容についての発表</p>	 



<p>得られた成果</p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒達にアンケートをとり歴史に関する興味・関心を引き出すことができた。疫病今昔物語の学習では、昔と今を比較しながら感染症対策の重要性を再確認する時間がとれた。 2年生はプレゼンテーション能力の基礎的知識を身につけることができた。 	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	かなり
該当しないものを削除し該当するものを残す	学びに向かう力・人間性	大いに
<p>課題・苦労・工夫</p> <p>やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください</p>	<p>歴史防災教訓学の内容のより一層の充実を目指していきたい。また、地域の寺社仏閣とのより一層の連携も模索していきたい。専門家の意見も取り入れて、他校にはない歴史防災教訓学の指導計画をパッケージ化し、改良を加えていきたい。</p>	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p> <p><u>1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください</u></p>	
関係者の名前・団体名	京都橘大学文学部歴史遺産学科 村上 裕道 先生
関係者の説明	文化財保護学習についての説明
<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p> <p><u>1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください</u></p>	
関係者の名前・団体名	京都府教育委員会文化財保護課
関係者の説明	文化財現地視察の説明、寺社仏閣の防災対策について
<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p> <p><u>1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください</u></p>	
関係者の名前・団体名	京都光華女子大学キャリア形成学科 高野 拓樹 先生
関係者の説明	プレゼンテーション能力のスキルアップの指導

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p> <p><u>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</u></p>	
伝えたい相手	学校関係者
伝えたい内容	他教科と関連付けた防災学習の有効性と地域の資源を活用した防災学習の必要性

ここまで、実践したプランの数だけ記入する内容です